

# ドキドキわくわく あたらしい本 えほん

2021.12

## とうみんホテルグッスリドーズ

かめおかあきこ 作  
岩崎書店

あきがふかまるころ、ホテル グッスリドーズへどうぶつたちがやってきました。ヤマネにリス、くまにアナグマ。ここは、ふゆをねてすごすためのとうみんホテルです。ぶじにふゆがこせるように、ごはんをたべたらあたたかいベッドで「グッスリドーズ」。はるがくるまでねむりにつきます。このほんをよんだら、あなたもとうみんしたくなるかもしれません。

## ピンクいろのうさぎ

たかおゆうこ さく  
講談社

あるところに、しろいうさぎたちがすんでいました。あるとき、そこにピンクいろのうさぎがうまれました。なまえはぴよん。「どうしてぼくはピンクいろなんだろう？」どこかにじぶんとおなじピンクいろのうさぎがいるかもしれないとおもったぴよんは、たびにでることにしました。9つのやまと8つのたにをこえていきます。いったいどんなであいがあるでしょう。

## 低学年

## はやとちりからはじまった

藤田千津 作 夏目尚吾 絵  
文研出版

いちねんせい  
一年生のマコトは、おなじ組の<sup>くみ</sup>コウくんから、やきいもをするサツマイモ<sup>い</sup>ばたけへ行こうとさそわれる。ところが、はたけのあるばしょが<sup>こ</sup>子どもだけでは行けないといわれているところだったため、マコトは「やめようよ」といってしまう。

そんなふたりを<sup>み</sup>見て、なかまにくわわった<sup>さん</sup>チコちゃんと三人は、やきいもについてかぞくにかくにんをして、こうえんにあつまることにする。そして、そのこうえんで、三人はひとりのおじいさんとであう。

## 物語 王さまとかじや

ジェイコフ・フランク 文  
ルイス・スロボドキン 絵  
八木田宜子 訳  
徳間書店

ある国に、「かしこいホレイシヨ王」とよばれる<sup>はつ</sup>八さいの<sup>おう</sup>王さまがいました。この王さま、<sup>だいじん</sup>大臣たちがきめたことだけをしないではいけなかったため、しあわせとはいえませんでした。

そんなある日、<sup>ひ</sup>馬で<sup>うま</sup>森に<sup>もり</sup>行った<sup>い</sup>王さまは、からすにかんむりをとられてしまいます。大臣たちが、なににもできないなか、王さまは<sup>むら</sup>村のかじやをよびだしました。

かじやは、かんむりをとりもどせたいでしょうか？

## カティとつくりかけの家

福井さとこ 作・絵  
ポプラ社

チェコ共和国きょうわこくの小さな街まちに住む8さいの女おんなの子カティは、雪ゆきげしょうをしたおもちゃ箱ばこのような街から山やまへ、家族かぞくといっしょに車くるまで向かいます。坂さかをこえると、まっ白しろな大麦おおむぎ畑はたけのなかにポツンと1けん、つくりかけの家ねんがありました。5年ねんもの間あいだ、パパといっしょにつくった、手づくりの家てがもうすぐできあがるのです。

「ああ、この家いに、はやくすみたいな」  
一番いちばんのお気きに入いりのテラスでに出て、ハンモックはなしによこになると、雪ゆきだるまたちがカティの話をはなししているようなのです。思おもわずとびおき、カティは雪景ゆきげ色しきのなかをたんけんすることにしました。

## オンボロやしきの人形たち

フランシス・ホジソン・バーネット／作  
尾崎愛子／訳 平澤朋子／絵  
徳間書店

ある女おんなの子この子どもべやにある「オンボロやしき」とよばれる古い人形いへの家なか。家なかも中すに住む六人ろくにんの人形いへもぼろぼろでしたが、人形いへたちはいつでもなかよく陽気ようきにくらしていました。

ある日、子どもべやに新しい人形あたの家「ピカピカ城じょう」と、りっぱではなやかな七人しちにんの貴族きぞくの人形いへたちがやってきて、オンボロやしきはへやのすみへおしこまれてしまいます。それでも人形いへたちはピカピカ城じょうをわくわくしながらがめ、楽しくすごしていました。ところが、ある日、女おんなの子この乳母うばがオンボロやしきをもやそうとしていることを知しり、人形いへたちはふるえあがります。

# 高学年以上

## ジークメーア—小箱の銀の狼—

齊藤洋 作 にしざかひろみ 絵  
偕成社

ジークメーアは、呪術師じゆじゆつしの母ははと海辺どうくつの洞窟どうくつでくらししている。ジークメーアは泳ぎが得意で、どこにいても方角くらやみがわかり、暗闇あんきゆうでもものの形かたちがわかり、半弓はんきゆうの技わざにたけているふしぎな少年だ。

母ははは人かちくや家畜かちくの病びょうを治なしたり、先まへのことがわかったが、ある日、村むらに海賊かいぞくが来きると告つげた。そして、海賊かいぞくを倒ひやくにんたいちようしにきた百人隊長ひやくにんたいちようのランスの命いのちを助たすけたことをきっかけにジークメーアはランスと旅りんごくに出ることになった。旅りんごくの目的りんごくは、隣国りんごくフランク王国おうこくに対抗し、「小箱の銀の狼」を手てに入れること。そのために、ランスは、「フクロウより見える少年」をさがしていたのだ。

ジークメーアの冒険ぼうけんが始はじまった。

## 天の台所

落合由佳 著  
講談社

台所だいどころは、おうちの中の大切な場所しんぞう、「心臓」だということ、ばあちゃんが言いっていた。うちの家事かじを一手ひとてにやってくれたそのばあちゃん、もういない。ぼくはこの家いへで、お父ちちさんと弟あに・妹いもうとの4人よにんで暮くらしている。

そんな時、ばあちゃんが使つかっていた台所だいどころを元もと気にするため、ばあちゃんの友ともだち「がみババ」に料理りょうりを教おしえてもらうことになった。料理りょうりをし、台所だいどころを活用かっくしていれば、台所だいどころは元もと気になるんだとか。

がみババのおかげで、ぼくの料理りょうりのうではどんどん上あがった。そこで先生せんせいに、「料理コンテスト」に出場しゅつじやうしてみないかと、声こゑをかけられた。